

医療機関で働くみなさまへ

知的な障害のある人を 理解してください！

障害のある人が病気やけがをしたとき、
うまく症状を伝えられないことがあります。
この先どうなるのかわからなくて、
強い不安をもつ人もいます。
そんなとき、安心して医療を受けるには、
みなさんの理解が必要です。
病気やけがの状態を上手に聞いていただくために、
このパンフレットを作りました。
ご活用していただければ幸いです。



こんな経験はありませんか？



変な人？
困った人？
こわい人？



いいえ、そんなことはありません

知的な障害のある人は、発達に遅れがあるために、うまく社会に適応できないことがあります。

知的な障害のある人にはこんな人たちもいます

コミュニケーションが
うまくとれない



はじめての体験に
不安を感じる



どうしていいかわからないとき
パニックになる



コミュニケーションボードや絵カードを利用しましょう

保険証や診察券を見せてもらいたい場合

➡ コミュニケーションボードの
「もっていますか？」を使って聞いてください。

どこが痛いかわからない場合

➡ コミュニケーションボードの
「どこがいたいの？」を使って聞いてください。

➡ 絵カードを使ってください。



どれくらい痛いかわからない場合

➡ コミュニケーションボードの
「フェイススケール」を使って
聞いてください。

検査の説明をしたい場合

➡ 絵カードを使ってください。



* コミュニケーションボード裏の絵カードは一部です。

絵カードは全部で41枚あります。ご希望の方は大阪知的障害者育成会

(電話：06-6975-3370 FAX：06-6975-3350)にお問い合わせください。

知的な障害がある人のセーフティネットをめざして

発行：2007年10月

発行者：プロテクション・アンド・アドボカシー・大阪(P&A-大阪)

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-46-4 昭和土地建物ビル2F 辻川法律事務所内

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業